

## 意見箱の設置について（回答まとめ）

## 1 意見箱の設置について

賛成 19名 ・ 反対 4名

## 賛成理由

賛成ではあるが、コミュニティセンターが無い地域では、どこに設置するかが課題です。
コミュニティセンターがほぼ利用できない状況の中で、どれくらい意見が出てくるのか？と思います。
「感染防止」「生活様式の変化」の取り組み等は、区民全体の参加意識の醸成が肝要と考える。
パソコン等をつかえない方のため。
広く意見を聴くことは良いこと。ただ、コミセンや役所だと回答する属に偏りがある気がする。若い層の意見を聞くならホームページが良いのでは。
区や市に対し、直接声を上げられなくとも、アンケート形式や意見箱といった書面であれば、意見を言いやすいため。
区民の意見に耳を傾けるのは自治協の活動として意義があると思う。
閉塞状況にある住民の声は、これからの行政運営には貴重なものとなる。
広く区民の声を聴くために必要だと思う。
ホームページにアクセスできない人のために意見箱設置は良いと思う。
意見を寄せる場所がなくて困っている人もいるかもしれないため。
相談場所に困って、悩み等言えない人のために。そして、より多くの人たちからの意見を聞いて、今後の活動に参考にできれば。
区民の要望を聴くことや行政に届けることは自治協の大切な活動だと思う。
秋葉区民の生の声を聴けるから。
私たちは、コロナウイルスという初めての脅威と戦っている。皆、初めての体験で不安であり、根拠のない風評も流れている。どんな理由で不安を感じ、どんなことで対応を考えているのか、広く意見を集め、状況を把握することは重要なことと思う。

## 反対理由

「生活様式の変化など区民の声を聴くため・・・」を趣旨としているが、日本中の人々が同じ痛み、苦悩、不安な生活など、取り巻く境遇は同じような状況下であり、区民だけが特別な事態とは想像できない。情報発信は報道機関からの声を活用すれば良い。意見箱の集約など業務が増加するが、その割に回答報告が難しい。それよりも、現況の社会的ルールを踏まえたうえで、自治協議会活動は変えるべきところがあるはずで、社会的距離を確保しながらコミュニケーションを深めるやり方はないか？矛盾した社会の仕組みをどう実現できるか？そこに集中した方がこの危機を切り抜けた時に価値があると思う。

当施設に意見箱を設置したとしても、コロナ対策による利用制限などで利用者が少なく、意見回収が期待できない。

「緊急アンケートの結果」がほぼ全て。

どのような意見を想定しているのかわかりませんが、多様な意見に責任をもって対応・回答することは難しいのではないかと。行政に伝えますでは意味がない。地域の意見は、委員の意見である程度集約できるのではないかと。

## 2 ホームページ等への掲載について

賛成 20名 ・ 未記入（又はどちらとも言えない）3名

### 賛成理由

賛成ではあるが、ホームページを閲覧している人がどれだけいるか。
幅広い年代から意見が聴けるので良いのではないかと期待できる。
学生や若い人、自宅にいる方にも情報公開できる。
設置、回収されて参考になる意見であれば掲載。
広く意見を聴くことは良いこと。ただ、コミセンや役所だと回答する属に偏りがある気がする。若い層の意見を聞くならホームページが良いのでは。
どのような意見があるのか広く周知できるため。
意見箱の存在を区民に周知するのはとても大切なことだと思うから。
意見箱だけでは、幅広い世代の意見を集めることは困難なため。
自分だけでなく、地域住民の思いを広く知ってもらおう。
若い世代の人たちや、遠く離れた他地域の人たちへの情報発信のため。
より多くの方から意見を寄せて頂けると思う。
他の世代の困りごとについても知ることができるため。
直接、意見箱へ投函できない人のために。
アンケートの結果について区民に知らせる必要がある。ホームページもその一つだが、高齢の方も理解できる方法も必要だと思う。区だよりや回覧板を利用できないか。
多くの人に周知できるから。
コロナ対策は、個人的な対策と集団での対策が必要です。様々な考え方を知ることでもまた大切な事と思います。ホームページは、その為の有効な手段の一つであると思います。

### （その他意見）

どちらとも言えない。 新潟県のホームページを利用する。情報は全体ですべきであるので、秋葉区地域の独自の取組みでない。区民は広域行政から正確な情報を迅速に把握するべきである。
---

### 3 意見箱と一緒に設置するアンケート用紙に設けたら良いと思う質問

設問	✓数
性別	18
年代	18
困ったこと・困っていること	16
必要な情報	12
自由記載欄	15

#### 上記のほか質問したいこと

・住所の町名か地域
・ステイホーム中に気付いたこと、変化など
・国、県、市、区にして欲しいこと

(その他意見)

・情報は全体で共通するべきであるので、秋葉区地域の独自の取組みでない。区民は広域行政から正確な情報を迅速に把握するべきである。

・全体を通して、①設置の期間を設定する。②いつ、誰がなど、取りまとめの手順を決めておく。③コミセンの負担にならないよう配慮する。④寄せられた意見の集約、分析、回答の手順を実施前に決めておく。